

令和7年度 地域ケア推進会議〈全体会議〉開催報告

資料2



豊島区地域ケア推進会議(全体会議)について
(地域ケア会議周知用チラシ)

高齢者福祉課 包括支援グループ

令和8年1月29日(木)15:00~17:00 ハイブリッド開催：IKE・Biz 6階多目的ホール
参加人数：54名 内訳：会場参加 44名(事務局含む) オンライン参加 10名

1. 平成30年度から令和7年度までの地域課題の選定 および 令和7年度「全体会議に向けた検討会」の取組について

豊島区における地域課題の優先順位 平成30年度

順位	課題	広範性と深刻性				実行可能性と効果				合計
		5	10	7	8	6	10	1	-1	
1位	災害への備え	5	10	7	8	6	10	1	-1	46
2位	認知症を地域で支える	5	5	8	9	3	6	9	0	45
3位	医療と介護連携	3	9	7	-7	2	7	7	7	35
4位	社会資源・仕組み作り				2	8	6	-2	3	23
5位	地域の支え手				2	4	-1	9	1	22

令和3・4年度の検討

- 入浴の場の充実
 - 3年度「入浴の場と調査テーマのしぼりこみ」
 - 4年度「移動支援付き銭湯入浴モデル事業」・調査
- 高齢者のごみ出し支援

令和5年度の検討

- 入浴の場の充実「入浴特化型デイサービスモデル事業」
- インフォーマルな担い手(3か年計画の1年目)
生活課題の分析・担い手のイメージの共有

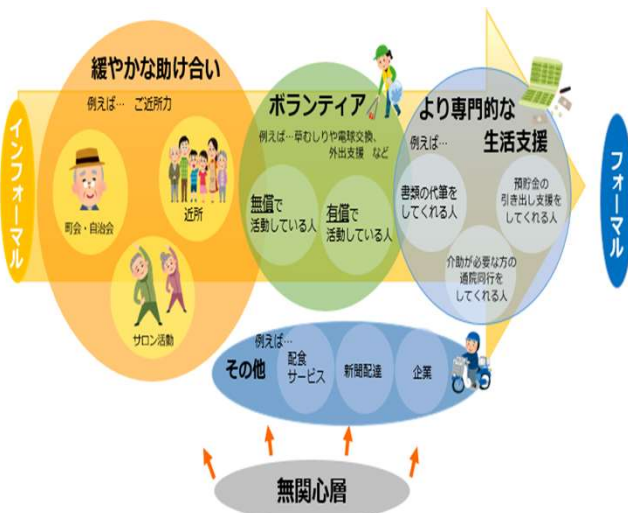
令和6年度の検討

- インフォーマルな支え手(3か年の2年目)
- 住民主体の支え手
 - 専門性のある支え手

令和7年度

検討を
継続

インフォーマルな支え手のイメージ共有



令和7年度の方針と目標

住民主体の支え手

ニーズ把握のためのアンケートを分析

何があれば、若いシニア層が支え手としてつながるのか？

専門性のある支え手

本人・支援者の困りごとを改善するために…

- ケアマネジャーの役割周知が必要
- 関係機関連携の強化

2. 今年度の地域ケア推進会議<全体会議>の概要

住民主体の支え手

① 令和6年度アンケート結果・考察

<結果>

- ▶ 参加者：65名
- ▶ アンケート回答者：49名
- ▶ 自由記載にしたことで、今までの職歴や趣味を活かしたものなど、幅広い自由な意見を聞くことができました。
 - ・統計グラフの作成・子どもに英語を教えたい・麻雀・将棋・地域の本屋をやってみたい・猫が幸せになる活動・大人食堂・傾聴ボランティア等
- ▶ 活動を実現するために必要なこと
 - ・仲間・情報発信・費用・場所
- ▶ 地域活動について興味があり、高齢者の生活支援推進員からの連絡希望者：21名

<高齢者の生活支援推進員から希望者21名へ連絡を取った結果・考察>

今すぐにはできない。今後考えたい。孫の世話。就労中。情報提供のみ希望。

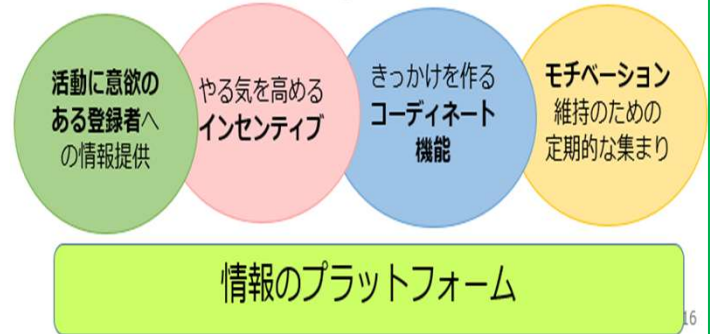
なぜ連絡を取ったが、繋がらなかったのか？

支え手が情報を自身のタイミングでキャッチする仕組みが必要ではないか

13

② 何があれば意欲のある方が繋がるか

支え手が情報を自身のタイミングでキャッチするには



16

アンケート結果より、「支え手が情報を自身のタイミングでキャッチする仕組みが必要ではないか」と考え、今ある資源の広報の仕方を調査した

地域活動に意欲のある方には、4つの視点のほかに情報のプラットフォームがあると、自身のタイミングで情報をキャッチし、さらに活動の継続に繋がるのではないかと

③ 高齢でも支え手として活躍している



プランナーと高齢者の生活支援推進員との連携で生まれた支え手の例

タワーマンションでの繋がりがスタート

リーダーは90歳。まだまだ元気！集まりがない時も、こまめにメンバー間で連絡を取り合っており、お互いに見守りあっています

20

④ 地域の中にある支えあいにも目を向ける



22

プランナーと高齢者の生活支援推進員の連携により、高齢でも地域の支え手として元気に過ごしている。本人をよく知る関係者のコーディネート機能が活かされた例

高齢者の生活支援推進員、CSW、包括職員など関係者は小さな支え合いにも目を向け、状況に応じて協働していく。また、地域活動に意欲のある方への情報発信は、周知方法をブラッシュアップしていくことが必要

専門性のある支え手

なんでも「ケアマネに聞いて」「ケアマネにお願いして」と言われてしまう…

行政の相談窓口がわからない…

ケアマネジャーの役割について、渡せるものがあると良いなあ…

経験年数が浅いと、社会資源を知らないことも…



① 取り組みの方針

周知

ケアマネジャー業務の見える化

(できること・できないこと)

目的：ケアマネジャーの役割を広く理解してもらう

活動内容：ケアマネジャーの役割周知チラシを作成

連携

“つなげ先”の見える化

目的：ケアマネジャーがつなげる先を明確にし、連携を促進する

活動内容：社会資源の持ち寄りや整理、行政各課の高齢者対応範囲を調査

2つの柱を元に「周知チーム」「連携チーム」で作業を実施

28

② 周知チーム(ケアマネジャーのお仕事とは)

介護支援専門員(ケアマネジャー)のお仕事とは



要介護者等からの相談を受けて、その心身の状態に応じて適切なサービスが利用できるよう介護サービス計画書(ケアプラン)を作成するお仕事です

- | | |
|---|---|
| 主な業務 <ul style="list-style-type: none"> 介護サービス計画書(ケアプラン)の作成と管理 介護サービスの提案・紹介 自治体やサービス事業所などの連絡調整 定期的な訪問 要介護認定に関する業務 | 介護保険利用について <ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の仕組みや手続きの方法 介護サービスの種類や具体的な内容 介護サービスの利用料 |
| 相談できること <ul style="list-style-type: none"> 医療機関との連携について 退院後の生活に必要な連絡調整 緊急事態に備えた連絡体制、具体的な対応方法 | 介護者家族への助言について <ul style="list-style-type: none"> 介護負担軽減の方法 地域で利用できるサービスの紹介 |

「ケアマネジャーは介護保険法というルールに従い業務をします/ルール上「できないこと」があります

- 器物や壊損、洗濯などの日常生活の手伝い
 - 通院の付き添いや外出の同行
 - 食事の調理や掃除などの引き出し
 - 家事や入浴などの介助
 - 夜中や休日の駆けつけ
- ケアマネジャー自身が対応できない場合でも、必要に応じて、専門機関を紹介します
- 主な紹介先の一覧
 - 介護保険... 要介護認定申請や申請書の提出、申請書の提出、申請書の提出、申請書の提出
 - 介護サービスの提供... 介護サービスの提供、介護サービスの提供、介護サービスの提供
 - 介護者家族への助言... 介護者家族への助言、介護者家族への助言、介護者家族への助言

豊島区

「周知」と「連携」のチームに分かれ、成果物を作成することにした

ケアマネジャーの役割を広く理解してもらう為に「主な業務・相談できる本来業務」「できることできないこと」を盛り込んだチラシを作成した

③ 連携チーム(社会資源のまとめ)

《検討メンバーの所属》

高齢者総合相談センター、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、豊島区民社会福祉協議会、高齢者福祉課

「自分たちのこと以外の業務内容、対応範囲、社会資源はわからない」

メンバー間で、疑問点やできること・できないことを共有

行政の相談先や、利用できるサービスを見える化しよう

各自持ち帰り、社会資源の情報収集&業務内容をまとめた

31

④ 今後の方針と課題

《今後の方針》

周知チラシ

地区懇談会、民生委員児童委員協議会、医療機関等に配布を広げられるよう検討

社会資源シート・行政各課対応シート

「作って終わり」にしない持続可能な仕組み
→年1回8月に情報を更新(高齢者福祉課が取りまとめ)

《残された課題》

身寄りなし、一人暮らし、低所得者、家族に課題あり
も使いやすいサービスが必要

ボランティアの拡充；育成、継続のための助成、活動の励みになるシステム…

低価格で利用できる公費助成のサービス構築
つながるサロン参加者が支え手になる仕組み…

34

ケアマネジャーがつなげる先を明確にし、連携を促進するために使用できる社会資源の一覧シートを作成することにした

「ケアマネジャーの仕事のチラシ」と「社会資源シート」を作成したところでの今後の方針と課題